

## II. DIC の診断 / ガイダンス

# 1. 日本血栓止血学会の DIC 診断基準暫定案— DIC の診断で何が変わるのか?



金沢大学附属病院高密度無菌治療部准教授 朝倉 英策 (Asakura, Hidesaku)

### THROMBOSIS and Circulation

#### § 論文のポイント

- [1] DIC の診断基準としては、旧厚生省 DIC 診断基準(旧基準)、国際血栓止血学会 (ISTH) DIC 診断基準、日本救急医学会急性期 DIC 診断基準が日本ではよく知られていた。
- [2] ISTH 基準は感度が悪く、急性期基準は全ての基礎疾患に適用できない。旧基準には、感染症に感度が悪い、分子マーカーが採用されていない、誤診されるなどの問題があった。
- [3] 新基準では、基礎病態により「造血障害型」「感染症型」「基本型」と診断基準を使い分ける。造血障害型においては血小板数をスコアから除き、感染症型ではフィブリノゲンをスコアから除く。また、血小板数に関しては、経時的減少で加点とした。
- [4] 新基準では、分子マーカーおよび AT を新たに組み込み、誤診対策として肝不全で 3 点減じている。

#### § キーワード

DIC 診断基準 / 分子マーカー / アンチトロンビン / 造血障害 / 感染症